

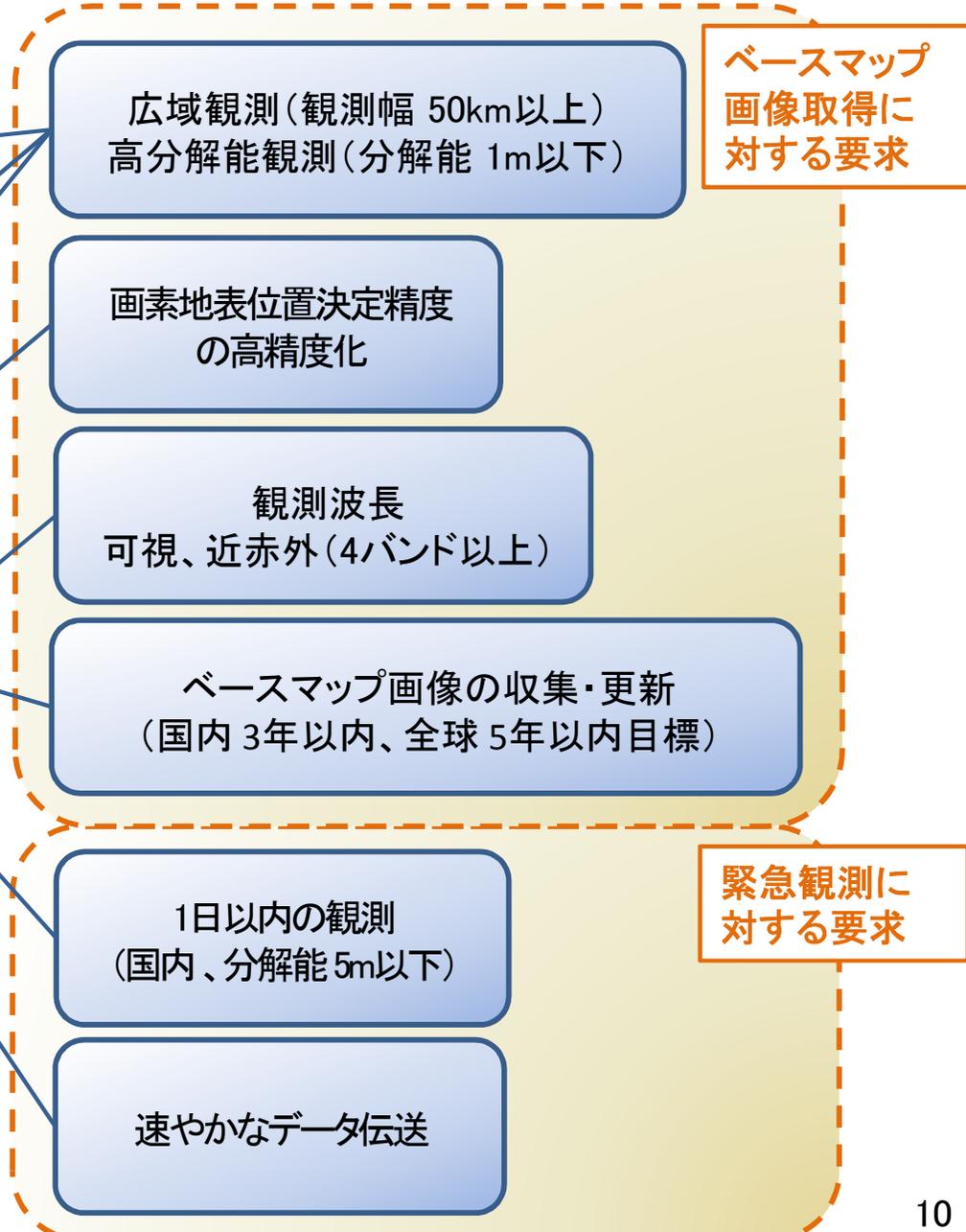
先進光学衛星 ユーザニーズとミッション要求の関係

各ミッションのユーザーニーズ*1を基にミッション要求を設定した。

【主なユーザーニーズ】

- 被災地全体の詳細状況把握
- 迅速な初動対応
- 全球ベースマップ (センチネルアジア等への貢献)
- 基盤地図情報の整備・更新
- 「だいち」からの継続性

【主なミッション要求】



ベースマップ
画像取得に
対する要求

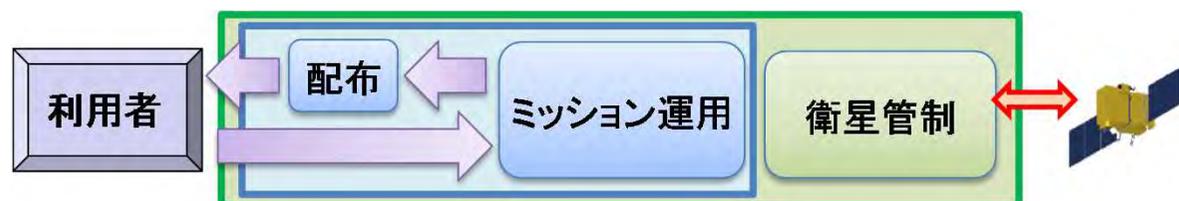
緊急観測に
対する要求

*1 先進光学衛星に対するユーザーニーズを「防災のための地球観測衛星システム等の構築及び運用の進め方について(改訂版)」「防災のための地球観測衛星等の利用に関する検討会」や衛星利用ワークショップ等を基に抽出した。

先進光学衛星のミッション目標 ③民間事業者の活力活用

民間の衛星画像データ利用ビジネスにおける知見を活用し、また民間事業者の自らの投資を受け、

- A) 多種・多様な利用ニーズにきめ細やかに対応することによりユーザを拡大する。
- B) 運用を効率化する。
- C) 民間を主体とした官民連携による光学地球観測事業の継続を目指す。

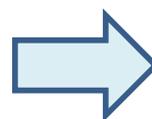


だいち (ALOS)

「だいち」の運用においては、

- ・事業者は、データ一般配布*1を実施。

*1 運用の最終段階では、事業者がミッション運用を含むデータ配布全般を実施した。



先進光学衛星

先進光学衛星の運用においては、

- ・事業者は、衛星管制運用とミッション運用及びデータ配布全般を実施。加えて、地上システムを整備。
- ・JAXAはミッション達成に必要な画像を調達。また、源データ保管、最小限のバックアップ地上システム整備並びに防災関係機関へのデータ配布は、引続き実施。